

令和4年9月第5回定例会一般質問事項（9／20・21）

1 辻 人志 議員（政友会） 【一括】

（1）コロナ禍における高齢者の社会参加について

- ・コロナ禍における「地域のつながり応援事業」「通いの場・サロン事業」について現状を伺う。
- ・シニアクラブの活動について現状をお聞きするとともに、活動の継続や促進に向けて、市は今後どのような支援を行っていくのかを伺う。
- ・コロナ禍においても高齢者が介護予防に取り組めるよう、市は今後どのような対策を講じていくのか。

（2）市立学校の周年記念事業について

- ・本市において、向こう3年間（令和4年～6年）で創立150周年または100周年、50周年の節目となる学校はどこか。
- ・該当校において記念事業を計画している学校はあるか。
- ・記念式典や記念碑の建立、記念誌の発刊などを行うため、実行委員会を立ち上げて計画・実行すると思われるが、市としてどのような支援が可能か。

2 山田 秀樹 議員（創政会） 【一問一答】

（1）インバウンドに向けた日本遺産活用について

- ・北前船交流拡大機構は訪日観光客獲得に向け、ルーブル美術館でフォーラムを行い、地方の自然や文化を紹介する。寄港地を有する敦賀市が参加を表明したが、本市の考えは。
- ・県内の寄港地を有する市町同士の連携PRについて本市の考えは。

（2）遊歩道や史跡の整備を

- ・海浜自然公園整備が計画されているが、東尋坊一帯の雄島地区遊歩道の立ち入り禁止箇所や危険箇所の整備計画は。
- ・丸岡城のPRの一環として丸岡藩砲台跡を整備し、東尋坊との相互観光に役立ててはどうか。

（3）管理不十分な空地や市街地の問題について

- ・行政が地権者に連絡しても返答が無い場合、危険や迷惑が増加していくが、どのように考えているのか。
- ・市民の協働作業で切った木々や草を市の負担で処理できないか。
- ・美しく安全なまちづくりのために自走式草刈り機、乗用式草刈り機や除雪兼用乗用草刈り機、電動高枝鋸などを市で用意し、市民に貸し出してはどうか。

3 伊藤 聖一 議員（創政会） 【一括】

（1）新教育長の基本方針について

- ・丸岡地区における今後の学校給食の方式について、教育長はどのような考えなのか。
- ・2学期制を導入する考えはないのか。現場の先生はどのように考えているのか。

4 川畑 孝治 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 春江駅改修と丸岡駅名について

- ・春江駅は平成25年に駅周辺整備計画が出来ているが、JRから第3セクターに移行するまで待つことになっているが、現状は。
- ・JRの駅舎などに対する考えが変わったと聞く。ハピラインふくいとJRとも協議すべきと考えるが、いかがか。
- ・春江駅はホームまでの階段が長く、高齢者、足の良くない人、小さな子連れの人、大きな荷物を持った人などから不評である。エレベーターの設置が必要と考えるが、エレベーター設置に向けた取り組みは。
- ・駅の西側および東側にて送迎がしやすい駅とするために取り組みが必要。用地を含めた、具体的な取り組みが必要だが、どうお考えか。
- ・以前丸岡駅名の変更は現在のJRでは、多額の費用が必要との事で変更は難しいとの事であったが、ハピラインふくいでは新駅を3ヶ所作る。その駅の開業時に丸岡駅名の変更をしてはいかがか。

(2) 災害廃棄物処理計画について

- ・災害時に発生する廃棄物の処理について、地域ごとに仮置き場の選定が必要だが、地域ごとに指定場所を決めているのか。
- ・災害廃棄物は、行政だけでは処理できず、民間の協力が必要。連携は取れているのか。
- ・災害廃棄物処理計画の策定が必要だが、策定に向けたタイムスケジュールは。

(3) 少子化対策について

- ・他の自治体でも行っている、給食費の半額補助は評価するが、市独自の少子化対策は。
- ・ふるさと納税の使い道について、総務省は子育て支援への活用は、成功事例として評価している。本市の取り組みについて伺う。

5 伊藤 宏実 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 豪雨による取水施設の損傷について

- ・8月豪雨による取水施設の損傷は、いかなる事故だったのか。その概要について、改めて尋ねたい。特に、原因について関係団体も含めてどのように分析しているのか、尋ねたい。
- ・この事故による坂井市内の農業被害状況について尋ねたい。特に畑作地などは10日あまり給水が止まれば、大きな影響があったと考えるがいかがか。
- ・事故の原因に対する今後の対策について詳しく報告願いたい。特に、国や県に対し、今後の対策をどのように働きかけるのか、市としての考えを尋ねたい。

(2) 機構改変による農業政策の充実について

- ・農業政策の充実を図るために、現在の所管である産業政策部から農林水産業関連の部門を独立させることが必要ではないか、市長の見解を尋ねたい。

6 鍋嶋 邦広 議員（創政会） 【一問一答】

- (1) 洪水・土砂ハザードマップを活用した本格的避難訓練の実施について
- ・改訂版ハザードマップの配布状況及び周知徹底についての現状は。
 - ・浸水想定区域や土砂災害特別警戒区域周辺地区向けの個別避難計画の策定や避難訓練の実施の予定はあるのか。
 - ・避難行動要支援者名簿の作成状況は。また、同個別避難計画の作成進捗状況は。
 - ・バックウォーター現象が起こる可能性の高い場所の特定はできているのか。
 - ・30年～150年に1回程度起こる大雨とはどのような雨量か、また、1,000年に1回程度とは。南越前町は2日間で426ミリ（平年の8月1ヶ月分の2.3倍）と聞いているが、30年～150年に1回程度に該当するのか。
 - ・原発事故も含め、大規模災害の危険度は高まっていると考えるが、米国のFEMA（合衆国連邦緊急事態管理庁）のような組織、福井版FEMAの創設も県と協議して検討していくべきと考えるが、市長のお考えは。
- (2) 坂井市キッチンカー等導入支援事業について
- ・応募総数並びに支援事業採択件数・事業計画の総額、及び現在の支援支出額は。
 - ・事業採択事業者の活動実績状況の報告（年度内の予定も含めて）を願いたい。
 - ・今後、市としての広報活動（例えば、地域型のポータルサイトの開設）やキッチンカー事業者への各種サポートについての考えは。
 - ・寄附市民参画制度の中でも表現されていた、被災地応援でのキッチンカーの活用についての考えは。
 - ・ふるさとチョイスの当該サイト上では、1,550万円集まっていたと記憶しているが、予算上では600万円のみのお繰り入れとなっている。残りの使い道はどのように考えているのか。
- (3) 今後の観光案内所運営体制及びあわら市との連携について
- ・新幹線芦原温泉駅構内にオープン予定の観光情報センターとの連携について、あわら市サイドとどのような話になっているのか。
 - ・えちぜん鉄道三国駅内並びに東尋坊交流センター内及び丸岡城一筆啓上茶屋内の観光案内所はどうなっていく予定か。
 - ・一部JNTO認定外国人観光案内所として、カテゴリー1の案内所としても登録しているが、英語のスキルとして十分な対応が出来ているのか。また、少なくとも1ヶ所はカテゴリー1からカテゴリー2を目指すべきと考えるが、どう考えているのか。
 - ・DMOさかい観光局とあわら市観光協会との協力体制の強化また、将来的には、合併も視野に入れるべきと考えるが、どのように考えているのか。

7 岡部 恭典 議員（創政会） 【一括】

- (1) 地域が行うコミュニティ活動の支援について
- ・コミュニティセンター移行に伴い、コミュニティセンター長の役割として施設管理のほか、まちづくり協議会や区長会、各種団体等との連絡調整を通じて、地域づくりのコーディネーター役としての重要な役割を担うこととなっている。このように

重要な役割を担っているにも関わらず、コミュニティセンター長の雇用形態は、会計年度任用職員であり、勤務時間は30時間であり、このような状態ではコーディネーター役としての重要な役割と責任を課すことは難しいと考える。常勤とし、雇用形態（賃金体系）を見直し地域のまちづくりを推進してもらおう考えはないか。

- ・拠点のコミュニティセンターに社会教育指導員を配置し、指導員の業務を拡充し、社会教育に対して指導助言を行うほか、社会教育上の立場としてまちづくり協議会が行う地域づくり活動においても指導助言することで、社会教育事業と地域づくりとの融和を図ることとしているが、まだ十分にその役割が果たされていないように思われる。今後どのように連携をとっていくのか。
- ・まちづくり協議会の抱える課題等については、役員の高齢化、事業のマンネリ化、後継者の育成、住民の参画が少ない等発足当時から現在に至っている。このような悩みや課題等を解決するため市としてどのような方策を考えているか。
- ・協働のまちづくりを推進する上で、市においては関係部局の連携のもと全庁体制で支援することとなっている。先の職員の研究グループの活動報告にもあったとおり、市職員が「まちづくり」の当事者としてまちづくり活動に関心を寄せ、理解することとしている。職員また退職した職員の関わり方を積極的に誘導することの方策はないか。

(2) 春江保健センターの整備について

- ・令和2年5月策定の「坂井市公共施設個別施設計画」では、将来の方向性として、集約化とし、市民の利便性を考慮しながら市内4つの保健センター機能を集約することで、施設の稼働率の向上と各種健診（検診）事業のサービスの向上に努めるとなっているが、具体的にどのように進めていくのか。また、唯一人口が増加する町の施設として、改修等を行い、機能を集約し、施設の充実を図る考えはないか。

8 佐藤 岳之 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 坂井市に新都市整備を

- ・福井港丸岡インター連絡道路に求める効果、影響は。市長の見解を伺う。
- ・県営産業団地の候補地に4市に絞られたと県議会で知事から答弁があったが、坂井市が応募しなかった理由、経緯を伺う。
- ・並行在来線において、福井―森田間の新駅の設置が計画されているが、坂井市においても新駅設置を考えているか。
- ・市長の描く理想の都市計画を具体的に伺う。

9 上坂 健司 議員（志政会） 【一括】

(1) 文化観光および地域経済戦略について

- ・文化観光の戦略について
 - ①三国祭の国の重要無形民俗文化財・ユネスコ指定を目指す、本格的な調査スケジュールはどうか。
 - ②文化で市民の心を豊かにするため、歴史文化都市宣言の取り組み状況はどうか。
 - ③今後、「地域のお宝」の伝統継承として坂井市歴史遺産として登録する制度を創

設し、認定証の交付や保存活用に貢献した団体の顕彰はどうか。

④新幹線開業1年6ヶ月に迫る中で、東尋坊、丸岡城をはじめ、市民の協力を得てリストアップした地域のお宝1,682件をどう文化観光の戦略へと展開していくのか。

・稼ぐ力強化で地域経済好循環を目指す戦略について

①本市の総合的な地域ブランド形成の構築と、その魅力の発信はどうか。

②低い水準の地域経済循環率の要因はどのように捉えているか。

③市長の政策提言である「稼げる産業を創出します」の地域産業の未来づくりへの方策と、地域経済循環構造の改善への取り組みはどうか。

10 廣瀬 陽子 議員（創政会） 【一括】

(1) 森林資源の活用について

・あわら市・坂井市森林整備構想における施策のうち、「地域木材の新規需要の開拓や販路拡大による利用促進」では、具体的にどのような取り組みを計画しているのか。

・木材の新たな需要喚起、地産地消、カーボンニュートラル促進のため、家庭への木質バイオマスボイラーおよびストーブ導入を補助してはどうか。

・新たな森林資源の利活用による交流人口の増加を目指し、森林作業道を活用したマウンテンバイクのコースや遊歩道を整備してはどうか。

・林業従事者を増やすため、市ではどのような取り組みを行っているのか。

11 林 豊夏 議員（創政会） 【一問一答】

(1) 教員の働き方改革について

・坂井市では、どのような取り組みをしているのか。

・教員の出勤は、どのように管理しているのか。

・部活動の地域移行について、現状と今後の予定を伺う。

(2) 市公式LINEアカウントについて

・市公式LINEアカウントを使った行政文書や回覧板のデジタル化のサービス開始はいつになるのか。また、進捗状況はどうか。

・幅広い世代に、日常的に利用してもらうようにするための施策はあるのか。

・行政文書や回覧板のデジタル化のほかの機能はどういったものがあるのか。

12 後藤 寿和 議員（志政会） 【一括】

(1) マイナンバーカードの促進に向けて

・本市のマイナンバーカードの普及状況は。

・普及促進に向けてどのような取り組みをしているか。

・マイナンバーカードを取得するメリット、デメリットは。

・マイナンバーカードを使って、今現在どのような行政サービスが受けられるのか。

・マイナンバーカード、ICチップの空き領域を本市は現在どのように利活用しているのか。

- ・マイナンバーカードを利用することで、今後市民サービスの向上につながる本市独自のサービスを考えているのか。

1 3 畑野 麻美子 議員（日本共産党議員団） 【一括】

(1) 休日部活・地域移行はできるところから

- ・スポーツ庁と文化庁は、2023～25年度を「改革集中期間」に設定。検討委員会と実現への行程をまとめた推進計画の策定の進捗状況は。
- ・受け皿となるのは、スポーツ少年団やクラブチームなど考えられるが、練習場所は学校も含め、校庭や体育館は利用できるのか。
- ・文科省は、2023年度予算に人材確保と経済的に困窮する家庭の生徒への財政的な負担も含めて、80億円を盛り込む方針だが、すでに、モデル事業として鯖江市や敦賀、美浜などでは取り組んでいる。来年度の予算に運営や指導者確保のための費用も計上すること。
- ・部活顧問を務めてきた中学校教員がクラブチームなどで、これまでと同様に活動を希望すれば、兼職兼業の許可を得て従事できることになっている。そのためには、残業時間を減らし、働き方を変えていく必要があるが、現在の取り組みは。

(2) 子どもにやさしいまち、子育てするなら「坂井市」・子どもの権利を保障する「坂井市子ども条例」の制定を求める

- ・「子どもにやさしいまち」とは、ユニセフによれば、子どもの権利を積極的に取り組むまちであり、必要な9項目があげられている。条例の制定は、大人がこれまで持っていた子どもに対する考え方や見方を変えていくきっかけとなる。一方で、子育てに悩む親自身のストレスの軽減や社会参加の支援、子育てサークルやグループの育成、地域による支援など子育て支援に取り組んでいくことが、間接的に子どもの権利を保障することにもつながる。子育てするなら坂井市。「坂井市子ども条例」の制定を求める。

(3) 「みどりの食料システム戦略」における坂井市の取り組み状況と体制は

- ・「みどりの食料システム戦略」における行動変容を促していくために、生産者、消費者の人達との革新的な意見交換会や勉強会、研修会は実施されたのか。取り組み状況と、体制は取れているのか。
- ・地産地消を意識した学校給食による、フードマイレージの削減、ないしは二酸化炭素排出量の削減の取り組みは、農家の人達の協力体制は取れたのか。

1 4 永井 純一 議員（公明党） 【一括】

(1) 防災・減災について

- ・これまでの訓練や運動を通して（総合防災訓練では課題を設定していると思うが、評価を踏まえ）、地震・台風・大雨・津波などに際し、どれだけの市民が命を守れる行動がとれると認識しているか。
- ・市の取り組みで、予想しうることについて早めの注意喚起や避難所開設など評価もしているが、まだ一部の方で、意識向上であったり、（災害の種類ごとに）具体的な行動が実際にとれるような方法を促すなど、やるべきことがあると思うが、これ

からの具体策を伺う。

(2) 認知症対策について

- ・これまでの取り組みと評価について伺う。
- ・これまでの取り組みを踏まえて、認知症予防の観点を含め、誰もが安心して普通に暮らせるよう、市民の意識啓発・向上、具体的に行動するための坂井市認知症基本条例なるものを制定してはと考えるが、所見を伺う。

(3) パートナーシップ・ファミリーシップ制度の制定について

- ・誰もがこの坂井市で安心して暮らせるよう、パートナーシップ・ファミリーシップ制度を制定するよう望むが、見解を伺う。

15 三宅 小百合 議員（政友会） 【一問一答】

(1) 坂井市の防災対策について

- ・8月の大雨での市内の被害状況は。
- ・県内でも記録的短時間大雨が発生している。豪雨時に浸水する可能性のある箇所がみられるが、下水としての雨水排水計画をどのように考えているか。
- ・気候変動による影響を踏まえた河川整備基本方針や河川整備計画等、危機管理の見直しが必要ではないか。
- ・嶺北三国消防署前の道路が冠水したが移転が必要ではないか。
- ・自主防災組織の活動状況は。
- ・ハザードマップを活用した避難訓練や防災教室はしているか。

16 松本 朗 議員（日本共産党議員団） 【一括】

(1) 安倍元総理の国葬に反対を表明し、市民、児童・生徒に弔意の強制を行わないこと

- ・市長の安倍元首相の「国葬」についての見解を表明すること。「国葬」の強行は、憲法14条、19条に反するとの指摘がある。いかがか。
- ・市関連施設、学校等に弔旗を掲揚することは、安倍元首相の礼賛につながる。弔旗を掲揚しないこと。
- ・市民、児童・生徒、教員などに対し、弔意の強制、要請を行わないこと。

(2) 市長は、過去・現在において、いわゆる統一教会との関係はあったか

- ・市長は、統一教会、その関連団体とご自身の関係について調査・確認されたか。
- ・市長は、統一教会とその関連団体の行事に出席、メッセージを送る等、何らかの関係があったか。

(3) 坂井市の起業支援の抜本的強化を

- ・コロナ禍の下で、市内事業者が、休・廃業を余儀なくされている実情は調査しているか。明らかにされたい。
- ・事業者の実情から、廃業を避けるために、坂井市が支援すべきことはなかったのか。
- ・新規創業支援を抜本的に強めること。助成金額と事業枠の抜本的拡充を求める。

(4) 防災対策の強化－洪水対策、避難所対策

- ・支流の河川整備の計画は、明確か。市としての具体的整備計画はどうなっているか。
- ・河川につながる、支流、側溝の状況把握、ポンプ排水の点検等は行っているのか。

- ・避難所運営マニュアルは、全て整備されているか。駐車場の利用計画・整備（白線等も）の課題は。